

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	(有) 松神建設 グループホーム 灯り たんぽぽユニット	評価実施年月日	平成21年 9月15日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成21年9月29日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>・開設時独自の理念を作成し、掲げている。</p>		
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>・各ユニットの目に付きやすい場所に掲示しその理念の持つ真意を理解、共有しつつ日々取り組んでいる。</p> <p>・研修時に基本理念について説明を受け、実践に向けて取り組んでいる。</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>・入居相談時や契約時にはご家族に対し、基本理念を説明し理解していただけるようにしている。</p> <p>・地域の方にはホームのパンフレットを配布し、その中に記載されている理念を見ていただくようにしている。</p>		
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>・近隣の住民は、常に声がけ等してくれ、ホームでのイベントには参加されたり、自家収穫されたものを差し入れていただいたりと日常的付き合いは頻繁にある。</p> <p>・ご近所の皆さんとは、散歩途中などに気軽に声を掛け合っている。</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>・ホーム主催のクリスマス会等にご近所の人を招いたり、町主催の敬老会に出席したり地域のつながりを大切にしている。</p> <p>・町民文化祭等に展示品(入居者様の作ったもの等。)</p>		
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>・地域でも高齢者は多く、日ごろから困っている事の相談を受けたり、情報交換をしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 ○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・日常多様な訴えや、出来無い事の要求等、言葉と気持ちと逸脱した訴え等、何のサインなのかを気づけるように取り組んでいる。</p> <p>・訴えについてはユニット会議などで話し合い、入居者様が生活しやすい環境作りに努めている。</p>		<p>・問題解決に向けての取り組みを速やかに行えるようにしていきたい。</p>
<p>14 ○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>・計画作成担当等が入居者様の健康状態や暮らしぶり等をご家族様に面会し、報告したり『灯り便り』を発行したりして個々にあわせた報告をしている。</p>	○	<p>・『灯り便り』の発行回数をもう少し増やしていきたい。</p>
<p>15 ○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・ご家族の意見、不満は事務所に集約され、各ユニット会議にて職員に報告され検討されている。</p> <p>・面会時などに職員から入居者様の生活の様子等を伝え、ご家族様との信頼関係を築けるように努力し、意見を言いやすい雰囲気をつくるようにしている。</p> <p>・連絡帳を活用し、職員全体が共有できるよう努めている。</p>		
<p>16 ○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・職員の意見、提案はユニットの主任以上が取りまとめ、定例のユニット会議等で意見交換をして可能な限り反映させている。</p>		
<p>17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>・勤務調整では、前もって私用等の届出したり、パート職員確保にて対応している。</p> <p>・一時的に勤務時間を変更したりして対応している。</p>	○	<p>・パート職員の確保をもっと欲しい。</p>
<p>18 ○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>・ユニット間の職員異動は少人数で行っており、異動周期も約1年と長めにしている。</p> <p>・お互いのユニットを行き来したり、職員がなじみの関係を保てるようにしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>・交代で勤務に支障がないよう研修等に参加できる機会をもうけている。</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>・町が主催する研修会等には積極的に参加出来る機会を作り、他同業者と交流出来る機会を設けている。</p>	○	<p>・他のグループホームとの交流の場を増やしたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>・福利厚生委員会を設置し、年に数回交流会や飲み会などを企画している。</p>		
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>・新たな資格取得等など向上心を持つ職員に対しては、会社としても出来る限り協力する体制をとっている。また、資格手当を設けるなどの対応もしている。</p> <p>・向上心や仕事に対する積極性、勤務状況などを常日頃把握し、昇給や賞与などへの評価につながるようになっている。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>・ホーム長等が訪問し、ご本人の状況を確認している。</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>・本人からの話だけでは補えない内容が多いため、必ず訪問しご家族からはより詳細な内容を聞き取るようになっている。また、これまでの在宅介護等での苦労などをよく傾聴し、今後の不安についても聞き取り理解するよう努めている。</p>	○	<p>・情報が乏しいケースがあるので、時間や回数をかけてお話しをして情報を共有する必要がある。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	・職員が相談を受けた時は、ホーム長などに報告している。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	・事前のホーム見学など家族等と相談しながら本人が安心して利用できるように勤めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	・基本理念を念頭に置き、支えあう関係を築いている。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	・職員だけでは支えきれない場面には、ご家族の力を借りながらよい関係をつくれるよう努めている。	○	・もう少し、ご家族様とゆっくり話し合う場がもてると良いと思う。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	・入居時や入居後にあっても、本人や家族からこれまでの生活ぶりなどを会話から聞き取り理解することに努めている。また、家族には本人の状況を報告しながらこれからの関係作りの橋渡しになれるよう努めている。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	・入居者様の顔なじみの人や、友達がこられた時は『また来ようかな。』と思えるように職員も明るく接するようにしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者様同士が仲良く暮らしていけるように、職員が関係作りに努めている。また、孤立する入居者様がでないようにケアにあたっている。</li> <li>全ての入居者様に関わりを持つ心がけている。</li> <li>入居者様同士が衝突しそうな時は介入している。</li> </ul>		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退居後も継続的な関わりを必要とするケースはないが、必要となった場合はできる範囲で対応したいと考えている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の性格や生活暦を理解することに努め、それに応じ対応の仕方を工夫している。</li> </ul>		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご本人や、ご家族様に話を聞いたり、毎日の生活のなかからこれまでの暮らしぶりについての情報を収集している。</li> </ul>		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に担当職員にアセスメントを実施してもらったり、ケース記録にも記載している。</li> </ul>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族様の意向は、面会時に都度確認をするようにしている。また、その意向はユニット会議にて職員に周知し、極力ケアプランに反映させるように取り組んでいる。</li> <li>計画作成担当が中心となり、定例のユニット会議で検討している。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族様が、遠距離に住んでいる場合は意向の確認がとりづらいため、今後もっと連絡を密にしていける必要がある。</li> </ul>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	・連絡帳を有効に使い、速やかにケアの変更を職員に伝達し実行するようにしている。 ・いまのところ、対応できないような大きな変化のある入居者様はいない。 ・三ヶ月に一度、またはケアに変更があったとき計画作成担当が中心に行っている。	○	・今後、いつ大きな変化があるか分からないので、その時に速やかにご家族様、その他関係機関と連携、相談できるように、より連絡を密にしておく必要がある。
38	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	・記載の仕方を統一し、職員全員が理解しやすいようにしている。 ・ケアプランに基づき記録するよう心がけている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	・町外への受診送迎や遠方家族の面会時の宿泊など、それぞれのニーズに応じた対応についてホーム内の機能を最大限活用し支援している。 ・遠方へのドライブや行事への参加など職員不足の際は、社内の他事業所(ヘルパー事業所)職員に協力してもらい対応し支援することもある。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	・訪問ボランティアや慰問の受け入れ、本人がこれまで持っていた繋がり(サークルや老人クラブ等)を大切に、各機関と協力しながら支援するよう取り組んでいる。		
41	○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	・区内にある他事業所とのサービス検討会議に出席し、情報交換や話し合いを行うと共に特別養護老人ホームとは個別に話し合う機会を設け、本人や家族の意向に沿えるよう取り組んでいる。 ・他施設に入所申請している入居者もいるので、その申請先施設とは定期的に連絡を取り合い状況確認などを行い調整している。		
42	○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	・権利擁護や成年後見制度の希望はないため、実際協働している場面はないが包括支援センターとは常に連携を図り、そのような事例が出た場合にスムーズに対応できるような体制を整えている。 ・権利擁護ではないが、口腔ケアの実践など地域包括支援センターと協力した事業を行っている。		



項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>・入居者様、ご家族様の希望は尊重している。診療所と事業所の信頼関係も構築されており、受診や転医の情報提供もスムーズに行われている。</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>・ホーム近くの診療所に定期的に通院しており、入居者様も信頼をおき相談などしている。</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>・看護職員の確保はない。</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>・入院後も定期的に訪問し、都度医師や看護師に状況確認を行いながら情報交換を密にして対応している。</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>・終末期に向けた取り組みはしていない。</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>・終末期に向けた取り組みはしていない。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>・移住時には、アセスメントや介護計画の詳細な内容をケア関係者に直接説明し、理解していただきながら少しでもダメージを防ぐことができるように努めている。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>・日々の勤務の中で注意をしたり、ユニット会議等で話し合っている。 ・採用研修のなかで教育を受けている。</p>		
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>・出来るだけご本人での意思決定を優先し、それを補助する役割をしている。 ・支援するよう心がけている。</p>		
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>・ゲームやレクの声がけは全員に行うが、参加の決定は入居者様の意思を尊重し、無理に参加を促すことはしていない。 ・ご本人の希望に添えるよう支援している。</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>・入居者様の行きたい店や、かかりつけの店に行っている。</p>		
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>・準備(下ごしらえ等)や片付けなど、入居者様の出来る範囲で協力してもらっている。 ・個々の好き嫌いを把握し対応している。</p>	○	<p>・もっと積極的に個々が持っている力を発揮できるよう機会をつくりたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お酒やタバコをのむ入居者様は現在おりません。</li> <li>・おやつは、入居者様の希望により職員と一緒に買い物へ言ったり、代わりに買うなどして対応している。</li> <li>・身体状況を考慮しながら嗜好品を楽しめるよう支援している。</li> </ul>		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々に対応した援助をしている。</li> <li>・医師の指導の下、便秘や下痢にならない様排便コントロールをしている。</li> </ul>		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴日は、現状火、木、土の週3回に決めているが、その日の気分や体調によっては入らない時もある。</li> <li>・行事があるときなど、他の曜日に移行することもある。</li> <li>・入居者の状況により曜日にこだわらず入浴していただいている。</li> </ul>		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者様の体調をみながら、横になるよう声がけしたり、好きな時に休んでもらえるようにしている。</li> <li>・就寝時間や昼寝など個々に違いがあるので十分に把握し対応している。</li> </ul>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操、ゲーム、掃除、ご飯支度など入居者様の負担にならない程度に様々なことをしてもらうよう支援している。</li> <li>・日々の生活や会話の中からヒントを探り少しでもハリのある生活が送れるよう支援している。</li> </ul>	○	・どンドン外へ出て、地域の人たちと交流をするようにしたい。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お金を自己管理できる入居者様は、ご自分で好きなものを買ったりされている。管理の出来無い入居者様は事務所預かりとし、必要な時に職員同行にて店へ行ったり、買い物代行をしたりして対応している。</li> <li>・おこづかいを所持していただくなど出来るだけ希望にそえるよう支援している。</li> </ul>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	・入居者様の希望を尊重し、近距離は徒歩、遠距離は自動車にてと、体調、天候等を考慮しながら外出機会を増やすようにしている。	○	・散歩や、友人宅への訪問、少し遠いところへ出かけ季節の変化を楽しめると良いと思う。 ・外出頻度を増やしたい。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	・お墓参りや友人宅への訪問など、希望に添えるように支援しているが、ホームだけでは対応ができない場合もあるので、ご家族の協力も得ながら支援している。 ・日常の会話の中から個々の思いを把握し、実現できるよう努めている。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	・自由にやり取りできる環境にある。また、大切にしている。 ・入居者様の希望により制限なく利用できるようにしている。	○	・もっとご家族と交流を図れるよう、その日にあわせご家族に電話をかけさせたい。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	・近所の人、顔見知りの方が自由に訪問できるような環境にしている。 ・いつでも面会できるようにしている。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	・会議の中で話し合ったり、職員間で身体拘束について意見交換をしている。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	・昼夜を通して居室には施錠はしていない。 ・やむを得ずかけなければならない場合は、会議等で十分話し合い対応している。 ・鍵をかけることの弊害を理解しケアに取り組んでいる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○利用者の安全確認</p> <p>67 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>・9名の入居者様がどこにいて何をしているのかを常に把握するように努めている。</p> <p>・個々の居室に出入りの際は無断することなく、一声かけるようにしている。</p>	○	<p>・過去に、入居者様が単独で外出しても気づかないことがあったので、職員間の連携強化、見守りの徹底をする。</p>
<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>68 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>・入居者様のADLにあわせ居室のレイアウトや床(カーペット)などに配慮している。</p> <p>・その状態に応じて対応している。</p>		
<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>69 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>・ヒヤリハットの報告をし、職員に周知して同様の事故が起きないように、職員が援助について常に考え入居者様と接するようにしている。</p>	○	<p>・学習会などで、知識をより深く習得できる機会をもっと作って欲しい。</p>
<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>70 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>・救命救急講習を受講し基礎的知識を学んでいる。</p> <p>・救命救急に関する書籍を準備しており、職員はいつでも読むことが出来るようにしている。</p>	○	<p>・応急手当や初期対応の訓練を定期的に行って欲しい。</p>
<p>○災害対策</p> <p>71 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>・火災に関しては定期的に避難訓練を実施している。</p> <p>・ホーム内での災害時の対応についての協議や確認は出来ていない。</p>	○	<p>・災害時のマニュアルや物品の確認作業の対応や対策を早くやる。</p>
<p>○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>72 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>・ユニット会議などで話し合い、リスクについて認識を持ちケアするよう努めている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p> <p>・自ら症状を訴えられない入居者様も多いので、日々のバイタルや体調変化に気をつけ様子がおかしい時はすぐ受診するよう努めている。また、連絡帳に内容を記載し全職員が共有できるようにしている。</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p> <p>・変更があったときは、通院連絡票や職員間の連絡等により周知している。個人台帳に服薬(外用薬等も含む。)情報を記載しいつでも閲覧できるようにしている。</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p> <p>・便秘のほか脱水を起こさないよう、こまめに水分摂取の声がけを行っている。また、食事時牛乳等を提供している。</p> <p>・散歩(ホーム内歩行)や体操などを実践している。</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p> <p>・毎食後のうがいは習慣づいており、自然に行くようになっていく。車椅子を使用しているかたは職員が対応している。</p>	○	・夕食後に歯磨きをするようにしたい。
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p> <p>・食事や水分量をバイタルチェック票に記載し、職員が把握できるようにしている。</p> <p>・体調により食事摂取量が著しく少ないときなどは、ご本人が食べられる果物や牛乳などを提供し栄養確保が少しでも出来るようにしている。</p>		
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p> <p>・うがい、手洗いに気をつけている。</p> <p>・感染予防マニュアルや保健所などからの通達資料を活用し理解するよう努めている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な消毒や漂白などは、毎日行っている。</li> <li>・安全な食材の使用、調理用具等の衛生管理には気を配っている。</li> </ul>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関先に入居者様に花を活けてもらい明るい雰囲気を作っている。</li> </ul>		
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節に応じた飾りや草花を飾っている。</li> <li>・入居者様を交え壁飾り等を作り、季節感を出すよう工夫している。</li> <li>・家庭的な環境が維持できるよう工夫している。</li> </ul>		
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブルや椅子の配置に配慮している。(リビング)</li> </ul>		
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者様が使いなれた家具等を持ち込んでいただいている。</li> <li>・入居者様が生活しやすいよう、必要によって模様替えを行ったり、必要なものを買って足したりしている。</li> </ul>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気の良い日は窓を開放し換気をしたりしている。</li> <li>・尿、便臭に対しては消臭、除菌スプレーを使用し心地よく過ごせるよう配慮している。</li> </ul>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	・歩行の邪魔になるものは置かないよう安全を確保視している。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	・洗濯物たたみ、食事の下ごしらえ等、各入居者様の出来ることを少しづつでも生かせるよう取り組んでいる。(日々の考える事で、機能の低下等防いでいる。)		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	・畑に花や野菜を植え、成長を楽しんだり水やりなどをしながら手入れ、世話が出来る環境を作っている。 ・ホーム前の公園等を有効に利用している。		



V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない ②
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない ②
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ②
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ②
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ②
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ②
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ②
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない ②

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない</p> <p>②</p>
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> <p>③</p>
98	<p>職員は、生き生きと働けている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>②</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>②</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>②</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)